

PL/SQL プログラミングⅡ ～研修受講前テスト～**■問題1【コンポジット型】**

PL/SQL プログラムで使用できるデータ型について、正しいものを1つ選んでください。

- %TYPE属性を使用すると、表の複数列のデータを代入できる変数を定義できる。
- %ROWTYPE属性を使用すると、データ型を1つずつ指定して、複数の値を代入できる変数を定義できる。
- RECORD型で定義された変数には、複数行のデータを代入することができる。
- TABLE型を使用すると、複数の値を一括して処理することができる。
- 分からない

■問題2【システム固有の動的SQL】

動的SQL文に関する記述について、正しいものを1つ選んでください。

- プログラムを作成するときは、なるべく動的SQL文を使った方がよい。
- 動的SQL文でDDLを使用することはできない。
- 動的SQL文を含んだプログラムは、コンパイルされた状態でデータベースに格納される。
- 動的SQL文を使用すると、アクセスする表や列をSQL実行時に指定できる。
- 分からない

■問題3【システム固有の動的SQL】

動的SQL文を使用した際にSQLの解析結果を共有するための記述について、正しいものを1つ選んでください。

- バインド引数には、INモード、OUTモード、RETURNING INTOモードの3つのモードがある。
- バインド引数はUSING句を使って指定する。
- プレースホルダを使うと、表名や列名を未定にしたSQL文の解析結果も共有できる。
- プレースホルダとバインド引数は、宣言部で定義することで利用可能である。
- 分からない

■問題4【カーソル変数】

カーソル変数を使った処理について、正しいものを1つ選択してください。

- カーソル変数には、複数の値を一括して代入できる。
- カーソル変数には、複数の結果セットの値を代入することができる。
- カーソル変数には、複数行のデータを動的に対応付けることができる。
- カーソル変数には、静的SQL文に対応付けることはできない。
- 分からない

■問題5【ユーザー定義パッケージ】

以下の中から、パッケージに含められないものを1つ選んでください。

- トリガー
- 変数
- 例外
- データ型
- 分からない

■問題6【ユーザー定義パッケージ】

パッケージの利点について、誤っているものを1つ選んでください。

- パッケージの本体が未作成であっても、そのパッケージを呼び出すプログラムをコンパイルできる。
- 関連するプログラムをパッケージ単位でまとめて共有メモリー上にロードできる。
- パッケージ内に、非公開のオブジェクトを定義することができる。
- パッケージの仕様部を再コンパイルしても、他のプログラムには影響を及ぼさない。
- 分からない

■問題7【ユーザー定義パッケージ】

オーバーロードの特徴について、正しいものを1つ選んでください。

- セッションを切断するまで変数に値を保持する。
- プログラムの実行時にアクセスする表や列を指定する。
- ロードしたプログラムの情報をメモリー上に固定する。
- 仮パラメータが異なるプログラムを同一名で複数作成できる。
- 分からない

■問題8【ユーティリティ・パッケージ】

ユーティリティ・パッケージの説明について正しいものを1つ選択してください。

- ユーティリティ・パッケージとは、Oracleの標準ツールで使用するためのパッケージのことである。
- ユーティリティ・パッケージの所有者はパッケージの実行ユーザーである。
- ユーティリティ・パッケージは定義者権限で実行される。
- ユーティリティ・パッケージは、catproc.sqlスクリプトを実行するとインストールされる。
- 分からない